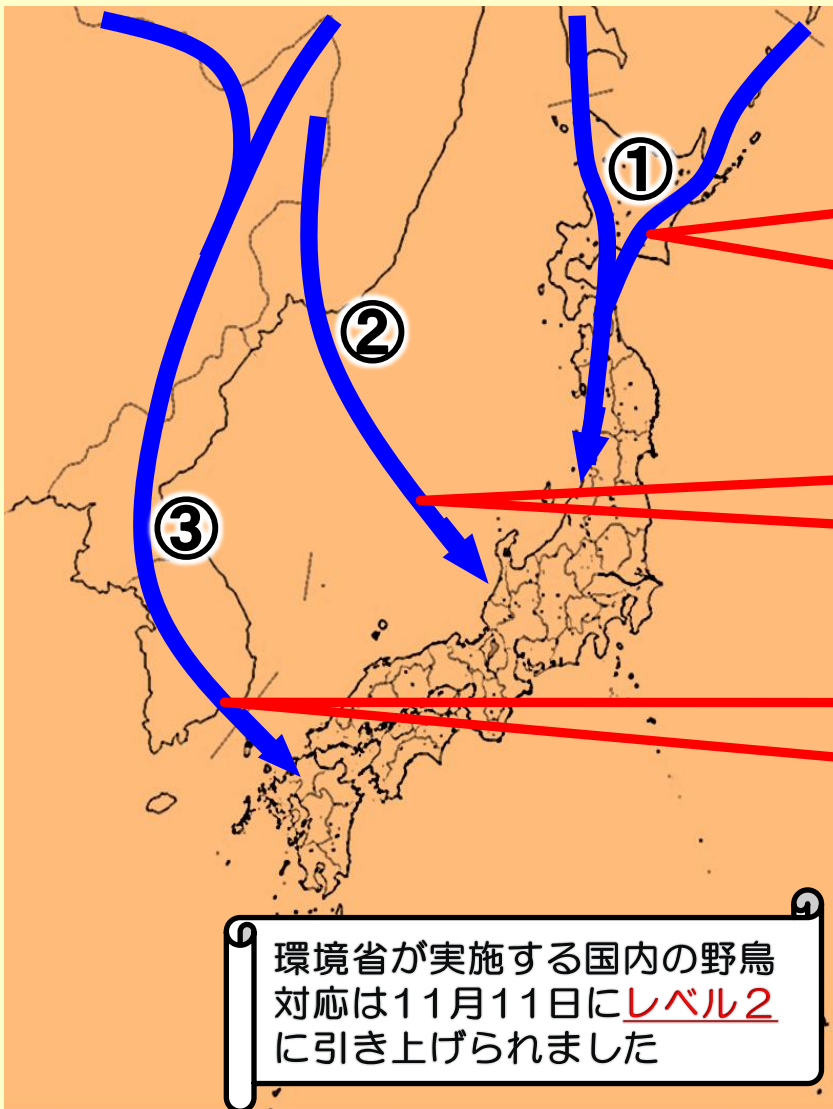


鳥インフルエンザ発生予防強化期間に入りました

- ◆ 渡り鳥の南下が本格化し、10月以降、ヨーロッパ(H5N8)や韓国(H5N6)において野鳥から鳥インフルエンザウイルスが検出されています。今後、一層の警戒が必要です。
- ◆ 各養鶏農場におきましては、鶏舎や防鳥ネットの破損、踏込消毒槽の消毒液の交換頻度等の点検を行うとともに、家きんに異常を認めた際には速やかに家畜保健衛生所へ通報してください。
- ◆ また、家きん飼養者の方(自家用も含む)は今後、近隣諸国または国内で発生した際の正確な情報の把握についてよろしく願います。



日本に関係する秋渡りのコースは

①カムチャッカ～千島列島、サハリン(樺太)経由で北海道、東日本

②極東ロシア方面～日本海経由で本州

③シベリア方面～朝鮮半島経由で九州、西日本

環境省が実施する国内の野鳥対応は11月1日にレベル2に引き上げられました

の大きく3コースを経て飛来し、日本各地で越冬します。